

※進捗 令和4年度に実施または取組み中 ◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取組み・検討状況、今後の予定など	進捗
まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	健康づくりや食育支援の推進	1	新	健康づくりや食育支援の推進	・令和3年度に引き続いて、摂食嚥下障害のある方々を支援する施設職員に向けて、歯科医師会と連携して、摂食嚥下に関する施設巡回相談を行った。	◎
	市民が主体となる地域活動の推進	2		まちぐるみの支え合いの仕組みづくりの推進	・地域共生社会の実現に向け、いきいきサロンやレモンキャブの活用を図りながら障害者等を地域で支える仕組みを推進する。	◎
		3		ボランティアの育成と活動支援の推進	・意思疎通支援者など地域福祉の担い手を育成するため、ボランティア育成事業（委託事業）として、手話講習会や点訳講習会、失語症会話パートナー養成講座など、ボランティア育成に関する各種講座・講習会等を実施した。また、手話講習会については、庁内の全職員に向けても周知を図った。 ・団体の活動場所を確保するため、障害者団体などが行う文化活動、スポーツ活動などの場所の確保を行った。 ・障害者福祉センターの改築に伴う基本計画を策定するにあたり、支援者団体等へのヒアリングを実施し、今後の団体支援についての意見聴取を行った。	◎
	地域共生社会の実現に向けた障害者差別解消の推進	4	拡	地域共生社会のさらなる推進	・地域包括ケア人材育成センターの主催する「プロジェクトわかば」、民生委員との懇談会にて、障害福祉の理解促進に努めたほか、精神保健福祉連絡会において、武蔵野市における障害者虐待防止の取組みについて基幹相談支援センターが研修を行った。	◎
		5		障害者差別解消の推進	・障害者差別解消支援地域協議会を2回開催し、関係機関に対し、差別解消法や合理的配慮についての情報提供や課題の共有を図った。 ・障害への理解を深めるため市民向けに障害者差別解消法講演会（令和5年2月11日）を開催した。また、講演会の内容を撮影した動画を期間限定で配信予定。 ・障害分野別に啓発のための講演会（委託事業）を実施した。	◎
		6		心のバリアフリーハンドブックの改定	・地域自立支援協議会のご意見も聴きながら、心のバリアフリーハンドブックの改訂作業を行った。	◎
		7		ヘルプマーク・ヘルプカードの普及・啓発の推進	・ヘルプマークやヘルプカードを作成して、障害者福祉課窓口や市政センター等で配布している。	◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取組み・検討状況、今後の予定など	進捗
まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	地域共生社会の実現に向けた障害者差別解消の推進	8		情報保障の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の主催事業として「登録手話通訳者研修会」を20回開催したほか、「ボランティア育成事業」を市民社会福祉協議会に委託し、意思疎通支援者を志す市民を対象とする手話講習会等を開催した。</li> <li>・手話通訳者の派遣方法について、市役所内の各課に周知し、利用する際の助言等を行った。</li> <li>・新型コロナウイルスワクチンや臨時特別給付金、くらし地域応援券等について、視覚障害のある方への発送用封筒に点字シールを貼付した。</li> <li>・障害のある人への情報保障として、市が発行するチラシや印刷物、看板等について、関係機関等の意見を聞きながら助言を行った。</li> </ul>	◎
生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化	保健・医療・介護・福祉の連携	9		在宅医療と介護連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携推進協議会の開催（親会2回）、入退院時支援部会2回、多職種連携研修部会3回開催した。</li> <li>・関係機関と密に連携をとり、多様な障害特性対応できる地域医療体制を進めていく。</li> </ul>	◎
		10	拡	在宅人工呼吸器使用者等への災害時個別支援計画の作成	・在宅人工呼吸器使用者に対する災害時個別支援計画の作成を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、作成件数が伸びなかった。	◎
		11		精神障害者の地域移行・地域定着の支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自立支援協議会での専門部会再編により立ち上がった地域移行部会において、課題整理を進めた。</li> <li>・精神科長期入院患者の実態把握のため、精神科病床のある病院宛にアンケートを実施した。</li> </ul>	◎
		12		依存症対策の理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉研修を開催し市民への普及啓発を行った。</li> <li>・都のギャンブル等依存症対策推進計画を踏まえ、今後の対策を検討する。</li> </ul>	◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取組み・検討状況、今後の予定など	進捗
安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	相談支援体制の強化	13	新	福祉総合相談窓口設置や福祉相談コーディネーターの配置に向けた検討	・令和3年4月より、生活福祉課にて福祉総合相談窓口を設置した。 ・複合課題を抱えた世帯の相談に対して、関係各課と連携しながら課題解決を行っている。	◎
		14	新	重層的な相談支援体制の機能強化と各機関の役割の明確化	・健康福祉実務担当者調整委員会、総合支援調整会議等への参加を通して分野横断的な連携を強化した。 ・基幹相談支援センターと地域活動支援センターとの定例会議の場を設け、情報共有を図った。 ・視覚障害や高次脳機能障害のある方々への支援を行えるように、障害特性に対応可能な専門相談員を障害者福祉センターに配置している。	◎
		15		相談支援専門員の育成	・困難事例検討会の開催のほか、相談支援専門員の初任者研修、現任研修の助言者を通して、相談支援専門員の人数増、スキルアップに取り組んだ。 ・相談支援専門員だけでは課題解決が難しい事例に対して、基幹相談支援センター職員と連携した支援を行った。	◎
		16	拡	ひきこもりサポート事業及びひきこもり相談窓口体制の充実	・令和3年4月に生活福祉課に所管を変え、福祉総合相談窓口にて相談受付を開始した。	◎
		17		難病患者向けの相談支援体制の充実	・保健所や東京都多摩難病相談・支援室とは情報共有を密に行うとともに、各関係機関と連携して相談対応を行った。	◎
	社会参加の充実	18		ゆるやかで多様な就労も含めた障害者雇用の推進	・庁内実習の受け入れを継続しており、障害者就労支援センターあいるの実施するネットワーク学習会や障がい者の就労を考えるつどいを通して障害者雇用や障害者理解の促進を図った。	◎
		19		障害者庁内実習の推進	・障害者就労支援センターあいるや人事課と協力し、庁内実習（2回）を実施した。	◎
		20		精神障害者等への就労支援ネットワークの強化	・障害者就労支援ネットワーク学習会を3回（あいる実施）、精神保健福祉連絡会（4回）を中心に、障害者就労をとりまく状況や必要な支援について共有するとともに、支援機関同士の連携強化を図った。	◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取組み・検討状況、今後の予定など	進捗
安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	社会参加の充実	21		成人期の余暇活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同行援護従業者養成研修や同行援護従業者のフォローアップ研修を実施するとともに、移動支援従業者養成研修への財政的支援なども行った。</li> <li>・ 市内在住者が一定程度利用している日中一時支援事業所への開設準備金や家賃補助等を行った。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、障害者福祉センターでの障害者講習会を行った。</li> <li>・ 生涯学習スポーツ課と連携し、総合体育館での障害のある方向けのスポーツ教室の開催と広報誌「つながり」を用いての周知を行った。</li> <li>・ 当事者団体へのバス借り上げ料の補助を行った。</li> </ul>	◎
		22		文化・スポーツ・芸術活動の充実に向けた環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「第20回むさしのあったかまつり」の開催に向けて、環境整備（会場の確保等）を行った。</li> <li>・ 生涯学習スポーツ課と協働して、発達障害のある児童へのサッカー教室を開催した。</li> </ul>	◎
	地域生活支援の充実	23		ネットワークを活かした地域生活支援拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度も引き続き、地域自立支援協議会の地域生活支援拠点部会において、課題整理を進めた。</li> <li>・ 令和5年度からは「わくらす武蔵野」に、拠点コーディネーターを配置し、地域の関係機関と連携しながら、拠点の機能を担う「面的整備型」の形で、拠点事業を実施する。</li> </ul>	◎
		24		失語症者などの高次脳機能障害者への支援拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度においては、失語症に関する支援事業を実施している事業者が協議の場を設け、各事業の課題整理を行った。</li> <li>・ 令和5年度は事業再編に向けて、事業者間での具体的な方向性を協議していく予定である。</li> </ul>	◎
	成年後見制度の利用促進	25		成年後見制度の利用促進	・ 成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会の構成員として、成年後見制度利用促進事業を実施した。	◎
	虐待防止の推進	26		虐待防止の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「高齢者及び障害者虐待防止連絡会議」を2回（9月、1月）開催し、虐待に関する情報提供と課題の共有を図った。</li> <li>・ 虐待の恐れのある相談については、障害者虐待防止センターとして、当事者及び関係者の相談に随時対応し、課題解決に向けた支援を行った。</li> </ul>	◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取り組み・検討状況、今後の予定など	進捗
安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	見守りや孤立防止の推進	27	新	潜在的な支援ニーズの把握方法の検討	・令和3年度から福祉総合相談窓口が開設され、潜在的な支援ニーズが表面化してきている。一方で、窓口での専門職による面談や聴き取りは、コロナ禍による郵送申請増の影響もあり、難しい面もある。	
		28		「見守り・孤立防止ネットワーク」による安否確認体制の充実	・「見守り・孤立防止ネットワーク」への参加により、安否確認体制の維持、向上に向けて取り組んだ。	◎
		29		市民こころの健康支援事業の充実	・新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、令和2年度から相談曜日を1日増やし、相談体制を強化してきている。自殺対策強化月間である3月及び9月にはテーマ講座を開催し、メンタルヘルスの重要性について広く普及啓発を行っている。	◎
	災害時に配慮を必要とする市民への支援	30	新	在宅避難の推進	・発災時には可能な範囲で在宅避難を行うよう、関係機関や各団体へ適時案内を行った。	◎
		31	拡	在宅人工呼吸器使用者等への災害時個別支援計画の作成【再掲】	・在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画作成事業実施要綱を制定し、事業を開始した。	◎
		32		福祉避難所の充実	・令和4年度に地域防災計画が修正されたことに伴い、避難所の対応について、健康福祉部全体で議論を行う。	◎
		33	拡	新型コロナウイルス感染症対策	・ワクチン接種支援、各種情報提供、PCR検査費用の補助など、可能な限りの感染症対策支援を行った。	◎
	地域福祉活動における多様な人材の育成と活用に向けた取り組み	34	新	市民の主体的な地域福祉活動に対する支援	・子育て中の保護者とペアレントメンターが話せる会を6回開催した。	◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取組み・検討状況、今後の予定など	進捗
福祉人材の確保と育成に向けた取組み	福祉人材の確保 (人材の育成)	35		相談支援専門員の育成【再掲】	・ 困難事例検討会の開催のほか、相談支援専門員の初任者研修、現任研修の助言者を通して、相談支援専門員の人数増、スキルアップに取り組んだ。 ・ 相談支援専門員だけでは課題解決が難しい事例に対して、基幹相談支援センター職員と連携した支援を行った。	◎
		36		他分野の支援者に対する研修の充実	・ 精神保健福祉研修を2回実施し、高齢者関連事業者、医療関係者、庁内の福祉関係以外の部署等に、幅広く精神保健福祉の研修を行った。 ・ ケアマネジャーや子育て部門職員に向けて、基幹相談支援センターや障害者総合支援法についての研修を行った。	◎
		37		武蔵野市地域包括ケア人材育成センターとの連携	・ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センターから障害福祉サービス事業所に障害分野に関する情報提供を行うことで、講演会や研修会等の周知を行った。	◎
		38	新	「介護職・看護職Ｒｅスタート支援金事業」の検討	・ 高齢者支援課と共管で「介護職・看護職Ｒｅスタート支援金事業」を実施した。	◎
新しい福祉サービスの整備	障害者施設の利活用等	39		肢体不自由児等を対象とした放課後等デイサービス事業の実施	・ 放課後等デイサービスパレットでは、令和4年度は新規に3名が利用を開始した。令和5年度は更に利用児童数が増える見込みである。	◎
		40	新	障害者福祉センターの大規模改修や業務のあり方の検討	・ 令和4年度は、「武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会」の報告を受け、改築に向けた基本計画を策定した。	◎
		41	新	RENGAの利活用に向けた検討	・ 令和3年度に、放課後等デイサービス、日中一時支援を行う事業者が移転し活用を始めた。	◎

基本施策	施策	番号	区分	事業	令和4年度における主な実績、取組み・検討状況、今後の予定など	進捗
子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	児童発達支援センターみどりのこども館による子どもの発達支援の強化	42		地域療育支援体制の強化	・みどりのこども館相談部ハビットを中心に、地域における療育支援体制の充実を図った。	◎
		43	新	包括的支援体制の整備	・子育て世代包括支援センター、児童発達支援センター、教育支援センターの実務者連絡会を開催し、円滑に連携していくための意見交換等を行った。	◎
		44		相談部ハビットのサテライトオフィスの設置	・相談部ハビットのサテライトオフィス（桜堤）を活用し、児童発達支援センターみどりのこども館と連携して相談体制を強化した。	◎
	放課後等デイサービスの充実	45		放課後等デイサービスの質の向上	・新型コロナウイルス感染症の影響があり、連絡会は実施しなかったが、必要に応じて事業所の訪問や連絡を行った。	
		46		肢体不自由児等を対象とした放課後等デイサービス事業の実施【再掲】	・放課後等デイサービスパレットでは、令和4年度は新規に3名が利用を開始した。令和5年度は更に利用児童数が増える見込みである。	◎
	保育士等の研修の充実	47		保育士等の研修の充実	・児童発達支援センターによる地域支援講習会（全9回）を実施した。	◎
	地域福祉活動における多様な人材の育成と活用に向けた取組み【再掲】	48	新	ペアレントメンターの活動支援	・子育て中の保護者とペアレントメンターが話せる会を6回開催した。	◎